

3 自由記載

問10の自由記載において、札幌市のこれからの保健・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について寄せられたご要望やご意見（734件）のうち一部を抜粋のうえ掲載している。

なお、プライバシーに関する記述、特定個人や団体に対する好意的な意見・批判・中傷は、その記載の一部を割愛し、明らかな誤字・判断しにくい文字については、表現を修正している場合がある。

3. 1 「40歳以上64歳以下」の自由記載

【保健福祉サービス】

介護保険を使わなくても良いような世代の人たちに、運動や食事に関するサービス(例えば、スポーツジムに通っている人には、少し補助のようなものが受けられるとか)を受けられるや、50代、60代の人たちが介護を受ける人が少なくなるための対策にお金をかけても良いのではないかと思う。(コミュニティーの場も含む)

(西区・女性・満50～54歳)

様々な取り組みなどを行っていても、それを全く知らない人もいて、その辺が公平にサービスを受けることができないというモヤモヤした気持ちになります。もう少しこんなことをしている、こんなことができるということを知ってもらえるようなことへの手間と時間を割いたらいいのになと思います。実際働いてみて思ったのですが、お給料が安いと言うのは、労働に対する対価が見合わないと言うよりも、精神的苦痛への対価(給料の)が合わないことの方が正しいような気がします。病気のだから、と言ってしまえばそうなのかもしれませんが、高齢者の方々の世間一般で言うところの職員に対するカスハラがひどいです。ご家族も同じです。自分たちではどうしようもないのであれば、win winの関係であってほしい。当事者は病気で多少は致し方なしとは思えますが。

(東区・女性・満50～54歳)

保健福祉サービスを利用しない、利用率が低い市民への還元があると良い

(清田区・男性・満50～54歳)

保健福祉サービスの内容をもっと発信してほしい。こちらが必要になってサービスを探すのではなく、こんなこと、あんなこと、サービスは多々ありますよと、発信してくれると、将来の不安も少しはなくなるかと思えます。

(北区・女性・満60～64歳)

福祉や保健、介護について知りたいが、現状では、自身の生活を維持しながら学ぶ、知ることが難しい。子育てが落ち着いたら考えたいと思うが、今後の未来(仕事を辞めた後)生活費が維持できて、日々に余裕とゆとりのある生活ができていることが前提だと思っている。

(西区・女性・満50～54歳)

【介護保険制度】

どのような事業があるのか、わかりやすく(高齢者でも)周知できるようにしてほしい。自分も親も高齢となり、介護保険の制度やサービスを受けるためには、どのような手続き、どこへ行けば良いのかわからない。この意識調査で初めて知る言葉や相談先がありました。自分でも調べてみたいと思います。

(白石区・女性・満45～49歳)

介護福祉分野では、そこで働く皆様への労働負担と精神的負担について減らせる方法と手当を増額すべきと思う。この分野で働く人が不満を持っているのは良い介護、福祉ができるわけは無い。不満を持つから、高齢者へのいじめ問題が起きる。

(手稲区・男性・満45～49歳)

認知症で介護を必要とする人が増えてきて、在宅で過ごすのに限界を迎えている人が多いので、施設を増やして受け入れてほしい。病院で介護申請し認定調査→介護区分→施設を決めるまでが長く、病院で退院できない人が多いので、もう少しスピードを上げて施設を早く決めて欲しい。

(清田区・女性・満40～44歳)

デイサービスで仕事をしています。サービスを受ける側もサービスを提供する側も、どちらも守られる社会になってほしいです。もっと介護制度が身近に感じられるように、子供のうちから機会があれば、もう少し理解を受け入れてもらえるのでは?とも思いません。今後の制度が、不安などなく、より良いものになるよう願います。

(手稲区・女性・満45～49歳)

介護保険料が現状より高くなる事はやむを得ないと思っているが、現状の制度を支えている年齢層が高齢になった際に現状と同じサービスを受けることができないのではないかと不安に感じています。どこかの世代が苦勞することのない施策を望みます。

(中央区・女性・満40～44歳)

国全体の問題なので、国力がない現状では福祉に注力できるはずもなく、労働力もない中で介護の現状を保持しようとしているのは理解できない。介護サービスを細分化してたり、介護を受けるにあたって、プロセスが多かったり本当に必要なことなのか？と強く思う(事業者側なので)。なので、札幌市独自の何かを求めるのではなく、国がどうしたいのかが見えてこないことに不満というか、期待を持たずにいる。

(手稲区・男性・満50～54歳)

【医療】

このアンケートを通して、知ったサービスがありました。50代以降、病気で通院増え、親の付き添いで病院に行く回数は増えます。大病院のみならず、地域病院にも高齢者支援について、サービスや相談窓口を記載したパンフレット等(冊子等)置いていただくと紙世代はありがたいです。よろしく願いいたします。

(豊平区・女性・満55～59歳)

私は癌を患ってから、癌以外の病気で入退院を繰り返していますが、札幌市からの受けられるサービスが何もなく、このまま家族に迷惑をかけることが心配です。年齢に関係なく、受けられるサービスを増やしてほしいです。

(西区・女性・満55～59歳)

【高齢者の社会参加・生きがいづくり】

高齢者が社会活動などできる範囲で社会で参加し、助けてもらうばかりではなく、誰かを助ける側になることで、認知症の進行が遅くなったり、誰かに必要とされることややることがあるという意識を持つことが、気持ちを前向きに、明るく生きる糧になるのではないかと思います。

(白石区・女性・満50～54歳)

札幌市は北海道の地域から比べると地下鉄やバスなど公共交通手段がたくさんあり、魅力的な施設もあり、うらやましいと感じる方もいると思います。なので交通や買い物のことを考えて、高齢になっても札幌市に住みたいと思ってます。冬は課題がありますが。

(西区・女性・満40～44歳)

【高齢者のすみよいまちづくり】

足が丈夫なうちは公共交通機関を利用し、通院すると思いますが、バスの減便が続き、大変不便です。免許返納を推進するなら、バスの減便はやめてほしいです。

(南区・女性・満60～64歳)

需要と供給が問題なく行われることが大事と思うが、その一方で若者に対する施策もおろそかにしてはいけないと思う。そういう意味では敬老優待乗車証の見直しは良かった。これから高齢になる人はますます貧困になると思うので、迅速な経済対策も必要だと思う。

(東区・女性・満40～44歳)

札幌市は地域間の格差があるので、札幌市全体で同じことをやるのではなく、区ごとに特化して考えるのも大事なのではないかと思う。親の介護で情報を初めて知るので、50代、40代の現役世代にもっと現状を伝えることができると思うのですが。自分事と思わないと高齢者にお金を使うと言うことに良い印象がわからないのでは。公共交通機関がどんどん減る中では、病院に通うための足になる乗り合いバスなどのサービスは必要ではと感じています。

(豊平区・男性・満50～54歳)

【市の施策や行政の対応等】

高齢者安心コール事業やおむつサービス事業は知らなかった内容なので今回の調査で知ることができました。また紙のアンケートの方が読み込みしやすかったです。私も必ず歳をとります。高齢者になったときの事前準備を気づきのきっかけになった調査内容でした。ありがとうございました。

(南区・男性・満50～54歳)

所得による制限と高齢者を差別する考え方に反対。それまでの苦勞と努力したものが所得が高いとすれば、個人の問題であり、差別をしてはいけない。高齢者は勞をねぎらい均等に扱うべきと思う。不平等とならない行政サービスを希望します。

(手稲区・男性・満60～64歳)

自分が他人様に迷惑をかけずに生きていくことに必死なので、今必要としていないサービス等は知らないことが多い。ゴミの冊子位細やかな相談場所のチャートがあるといいと思う。初診の予約が取りづらい。市が窓口になって病院に行けると良いと思う。

(西区・女性・満55～59歳)

【その他】

私のような単身の高齢者が今後確実に増加。個人のプライバシーと社会の接触にSNS等の活用。

(西区・男性・満55～59歳)

まだまだ自分の身には関係ないと思っていたけれど、もうきちんと知識を持って、将来に備える時期に来ていると感じました。

(西区・女性・満50～54歳)

転勤族なので、介護保険のサービス、札幌市独自の取り組みについて具体的な情報をあまり知りませんでした。アンケートに答えるだけでも勉強になります。冬の季節は引きこもりがちになること、JRやバスが遅れたりして移動が難しい、買い物や雪かきなどの心配があるなど、雪国ならではの課題が多く、除雪や熊対策で財政が大変の中、予算がかけられない状況ではあると思いますが、雇用創出、ビジネスになる可能性もあると思うので、民間との協働がうまくできると良いなと思います。

(中央区・女性・満40～44歳)

3. 2 「65歳以上」の自由記載

【保健福祉サービス】

札幌市の行っているサービスはいろいろたくさん行われている事を今回知りました。生活支援コーディネーター、高齢者あんしんコール、高齢者配食サービス事業、高齢者おむつサービス、介護予防センター、等色々ありますが、どこに相談したらよいのか分かりません。どこかに代表の様な相談電話又はセンターがあればよろしいと思います。先ず、出発するとしてどこに、きっかけを求めたらよろしいのか分からないのです。それから高齢者は動くのが大変です。市役所の窓口へ、というのは大変無理があるのです。

(中央区・男性・満80～84歳)

老人福祉センターという名称はいかにもという感じで利用しづらい。シニアサービスセンター、シニアサポートセンターなど明るい感じの名称に変えてみたらいかがでしょうか

(北区・女性・満65～69歳)

健康年齢を維持するために取り組んでる事ももっとPRすべき。病気になる前の制度があるなら格安で提供すると・・・(スポーツとか人とのコミュニケーション場)札幌市はすべてPR不足。ある施設はガラガラもったいない

(北区・女性・満75～79歳)

札幌市は高齢者がますます増加しますので、今後受けられるサービスがどうなるのか心配です。

(中央区・女性・満85～89歳)

高齢者に対するサービスをいろいろやっているようですが、認知しているサービスがほとんどない。もう少し認知活動をお願いしたい。例えば民生委員は一度も訪ねてきたことがない。

(東区・男性・満75～79歳)

【介護保険制度】

自分も来期から後期高齢者の仲間入りとなります。介護保険制度、高齢者施策は他人事と思わず常に自分にも降りかかることと思ひ、意識して生活していきたい。

(手稲区・男性・満70～74歳)

介護保険料の負担額が議論されていますね。個人負担を増やすのではなく、一般の税からの振替をしなければ利用者の負担増が避けられないのではないのでしょうか。

(西区・男性・満85～89歳)

介護認定の審査(判定)において、認定調査員によって介護度の認定に大きく差があるように思えます。このアンケートを通じて、たくさんの相談窓口があることを知りました。

(西区・女性・満70～74歳)

札幌市は保健・福祉サービス、介護保険制度等施策の情報発信に積極的と感じているが、今後とも施策の強化と情報発信の強化に期待しています

(西区・男性・満80～84歳)

介護保険制度を使うことになると、手続きが必要になり、区分によってそれぞれの福祉サービスが受けられると思いますが、どのようなサービスの種類や内容があるのかよくわからないです。

(東区・女性・満65～69歳)

要介護3から5の高齢者のお金の負担は大変だと思います。自分もいつかそのように可能性になっていくのかが不安。

(厚別区・女性・満65～69歳)

【医療】

急速に高齢化社会が発展する中、病気への早期発展に努めるためかかりつけ医の普及、充実を一層図るべきと考える。医師会との協力を得て、そのPRに皆の介護への負担をできるだけ少なくしていく政策として推し進めていくことが喫緊の課題ではないか。

(手稲区・男性・満75～79歳)

ワクチンに頼らず免疫力の強化と食の安全・対症医療からの予防医療への切替・薬や化学物質に依存しない予防体制・乳幼児への複数ワクチン接種は任意接種であるべき。こうした積み重ねがより良い高齢化社会へと進むのではないのでしょうか？

(白石区・女性・満65～69歳)

【高齢者の社会参加・生きがいづくり】

71歳になりますが、幸い薬剤師として仕事をしております。高齢患者様のご自宅へ薬を配達したり、薬のことで困っていると相談に乗ったりしています。自分でできる限りやれることをやっていこうと決めています。今のところ幸せな仕事を持ったと感謝しています。

(厚別区・女性・満70～74歳)

区によって違うと思いますが、健康づくり活動や趣味等のグループ活動がもっと身近であれば良いと思います。友人の話では厚別区には色々な活動がありうらやましく思いました。

(白石区・女性・満65～69歳)

高齢者といっても、頭も体も衰えないように、なるべく外に出て、社会と隔絶しないような取り組みが大事だと思う。身近なことと言えば、シルバー割引、時間帯割引などがあるレストランや食堂、コーヒー喫茶など、もっと増えると良いと思う。

(南区・女性・満70～74歳)

バスの廃線で外出が厳しくなった。地下鉄の階段がきつい。ますます外出がきつくなる。家にこもりがちになると思います。

(北区・女性・満80～84歳)

高齢者ばかりでなく、皆が創作、手作り作品を発表できる場をプロ・アマ関係なしに料金を安く貸せるように。介護施設、ボランティア、趣味、プロで作品を展示して、売れることこそ、創作意欲を増大させる。市民ギャラリー、交流センターなど堂々と販売できるのが望ましい。生きがいづくりになる。

(西区・女性・満75～79歳)

【高齢者のすみよいまちづくり】

札幌の高齢者は冬の生活が大変だし、最近は夏も暑くて大変になっている。この地方に独特な高齢者サービスがいろいろあってほしいと思う。少子化対策も大切ですが、高齢者サービスを充実させることで若い世代が救われることもたくさんあると思うので高齢者サービスを手厚くしてほしい。

(豊平区・女性・満65～69歳)

今はほとんどすべて詳しい事はネットでと言う事ですが、全員がスマホではありません。私も前はスマホでしたが、大きいのでガラケーにしましたので、詳しく知りたくても見ることができません。アプリも使えないので、災害とかの情報も知ることができません。スマホではない人を切り捨てないでください。ガラケーに変えた理由として大きいだけでなく、スマホが嫌いなのと、指の動きが気持ち悪いのです。私はスマホだけでなく、アナログ大好き人間です。(デジタルだと障害があると日本中大変なことに何日もなっていますね)

(西区・男性・満80～84歳)

冬季に高齢者に負担になる除雪は外出を困難にする要因になるため、できるだけ除雪をしてほしいです。健康づくりセンターに通っていますが、他の市町村に比べ民間に頼らなくても利用でき、良いと思います。いくつになっても自分で歩き、行動できる事は生きる意欲につながります。自分の居場所づくりにもなります。維持していただきたいと思いません。

(西区・女性・満70～74歳)

現在、ポイ活を行っていて、歩く際の目標になったりしています。札幌市でも導入されているようなことを知りましたが、65歳以上とか予防のための運動と言う形で取り入れてくだされば、認知、寝たきりになって介護を充実させるよりも良いのではと思います。

(清田区・女性・満65～69歳)

【市の施策や行政の対応等】

アンケートに回答しながら札幌市の高齢者施策について知らないことがありすぎると感じました。私の意識の低さによるものか、札幌市の広報力の低さなのか分かりませんでした。私たち夫婦の年齢も考慮した時、直近の問題でありもっと関心を持つ必要性を強く感じました。札幌市ももっと知らしめる取り組みが必要かも。

(清田区・男性・満75～79歳)

76歳になり、年齢を意識するようになりました。これからは札幌市の高齢者施策を調べて、毎日の生活に生かさなくてはと改めて思いました。

(北区・女性・満75～79歳)

国民保険等を利用（使っていない）人は還付金制度があればいいと思う、老人パスをJR等利用できれば良い（少し高くなったとしても）。このアンケートは長いです。書くのが大変でした。短い方がいいと思います。年代別にしてもいいと思う。

(手稲区・女性・満75～79歳)

年金生活で苦しい中で、敬老優待乗車証の負担額の変更はとてとてもショックです。私はバス・地下鉄で病院に行っていますが、これからは地下鉄まで30分歩いて行かなければなりません。歩く中での事が心配です。

(白石区・女性・満80～84歳)

【年金】

高齢者は年金生活者が多く、国民健康保険、介護保険など、結局支払いが多くなって生活自体が困っている人がほとんどだと考えます。年金を増やす方法を考えてください。

(西区・男性・満65～69歳)

年金生活者から税金、保険料の増額は非常に厳しい状況をもたらすと思う。皆がフレイルを知り、意識して生活できる環境づくりを広めることが出来たら良いと思う。介護保険料が上がらないよう、一人一人の努力が必要ですね。

(南区・女性・満65～69歳)

私の年金額は生活保護より低額です。国民年金の掛け金は20年以上掛けましたが理不尽だなと思っても仕方がないことと言うことは承知してます。この質問の趣旨とは異なりますが、一生懸命働いても生活保護以下の年金というのは承知はしていても、納得いかないものです。せめて福祉サービスや高齢者に対するサービスが費用の心配なく受けれるものであってほしいです。

(北区・女性・満65～69歳)

【その他】

現在要支援にも縁がありませんが、今後健康不安・経済面での不安が生まれた場合、どこに相談したらいいのかわかりません。地域包括支援センターという組織は知っていますが、要支援とかの人方の相談場所という認識です。住居についての支援（相談）の窓口があれば望ましいです

（手稲区・女性・満75～79歳）

高齢者福祉の充実は大切であるが、現役世代の負担を考慮することも大切である。これ以上の負担増は難しいかと思われる。少子高齢化の実態や日本の財政の現状・限界を高齢者に説明し、相応の負担や「我慢」を求めることも重要である。行政と政治が一体となり、この困難な課題に真摯に取り組むことを期待したい。

（北区・男性・満65～69歳）

介護事業所ではなく、地区でスポーツのできる場所が少ない

（中央区・男性・満75～79歳）

高齢者のたくさんのサービスがあることを知りました。オムツなどお金のかかるものはきついなあと思いました。介護イコールお金と決めつけてしまうほどかかりそうでびっくりです。子育てとは違う。元気で幸せな日々を過ごしてもらえるような工夫にお金をかけることも必要かなと思います。一人一人がお世話にならない工夫と声かけ、そして元気な方にはご褒美として毎月コーヒー券などの食事券。健康でいてもらうためにそうなってもらいたい工夫どうでしょう。

（北区・女性・満65～69歳）

4 調査票・別紙

4. 1 調査票・別紙

- (1) 調査票（65歳以上の方向け） P.198-P.211
- (2) 調査票（40歳以上64歳以下の方向け） P.212-P.221
- (3) 別紙【地域包括支援センター担当地区一覧】 P.222-P.233

高齢社会に関する意識調査

札幌市

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、**令和7年12月1日**現在の状況でお答えください。
2. ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。
3. 特段の指定がない限り、封筒のあて名の方についてお答えください。
なお、各設問の「あなた」とは、**封筒のあて名の方**を指します。
4. 封筒のあて名の方ご自身をご記入できない場合は、ご本人の意思をご確認のうえ、ご家族等が代わりに記入するなど、可能な範囲でご協力ください。
5. 質問によっては、ご回答いただく方が限られているものもありますので、**矢印（→）や、ことわり書き**に従ってご回答ください。
6. 回答方法には、**1つのみに○をつける、当てはまるものすべてに○をつける、回答を直接記入する**の3種類があります。それぞれの設問に明示されている方法に応じてご回答ください。
7. 答えにくい質問や答えたくない質問については、ご回答いただく必要はありません。可能な範囲でご協力ください。
8. ご記入がお済みになりましたら調査票は、同封の返信用封筒に封入・封緘のうえ、**令和7年12月22日（月）まで**にご投函ください。（切手は不要です。また、返信用封筒に差出人氏名をご記入いただく必要ありません。）

【調査に関するお問い合わせについて】

札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課
TEL 011-211-2547

1 基本的事項について

問1-1 調査票を記入しているのはどなたですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. あて名のご本人 2. ご家族 3. その他

問1-2 あなたのお住まいの区を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中央区 4. 白石区 7. 清田区 9. 西区
2. 北区 5. 厚別区 8. 南区 10. 手稲区
3. 東区 6. 豊平区

問1-3 あなたの性別を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

問1-4 あなたの年齢を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 満65～69歳 4. 満80～84歳 6. 満90～94歳
2. 満70～74歳 5. 満85～89歳 7. 満95歳以上
3. 満75～79歳

問1-5 あなたは現在、どこで生活をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分または家族の持ち家（一戸建）
2. 自分または家族の持ち家（マンション）
3. 民間の借家（一戸建）
4. 民間の借家（マンション、アパート）
5. サービス付き高齢者向け住宅※1 などの高齢者向け住宅
6. 道営・市営住宅、公団住宅
7. グループホーム
8. 軽費老人ホーム※2、有料老人ホーム、養護老人ホーム
9. その他（具体的に）
10. 特別養護老人ホームなどの施設※3に（入所中）問8-1（20ページ）へ

※1 「サービス付き高齢者向け住宅」とは、住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安全確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができきる環境を整えた住宅をいいます。

※2 60歳以上で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居室において生活することが困難な方が入所する施設で、A型、B型、ケアハウスの3種類があります。

※3 「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。

2 世帯の状況・住まいについて

問2-1 あなたの世帯の家族構成を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. ひとり暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子や娘との2世帯
5. その他（具体的に）

問2-2 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 住み続けたい 3. どちらともいえない
2. 住み続けたいとは思わない 4. わからない

問2-3 あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っているとと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う 4. あまりそう思わない
2. まあそう思う 5. そう思わない
3. どちらともいえない 6. わからない

問2-4 あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在の場所で生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む）
2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい
（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）
3. 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい
4. わからない

問2-5 介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 住み続けられる住まいがある
2. 家族が同居、または近くにいる
3. 身近に利用できる医療機関がある
4. 通ったり宿泊したりできる介護サービスがある
5. 夜間に訪問してくれる介護サービスがある
6. 見守ってくれる友人・知人が近くにいる
7. 利用しやすい交通機関がある
8. 身近に買い物できる場所がある
9. 緊急時の連絡手段がある
10. 紙おむつの支給が受けられる
11. その他（具体的に)
12. 特にない

問2-6 あなたは最期をどこで迎えたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自宅
2. 特別養護老人ホーム
3. グループホーム
4. 病院・診療所
5. サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅)
6. その他（具体的に)
7. 考えたことはない
8. わからない

3 毎日の生活について

問3-1 週に1回以上は外出していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問3-2 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問3-3 外出する際の移動手段は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車（自分で運転）
5. 自動車（人に乗せてもらう）
6. 市電・地下鉄
7. JR（鉄道）
8. 路線バス
9. 病院や施設のバス
10. 車いす
11. 電動車いす（カート）
12. 歩行器・シルバーカー
13. タクシー
14. その他
（具体的に)

問3-4 バスやJR（鉄道）、市電・地下鉄を使って1人で外出していますか（自家用車での外出も含めます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

問3-5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問3-6 自分で請求書の支払いをしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるし、している
2. できるだけしていない
3. できない

問3-7 自分で預貯金の出し入れをしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問3-8 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問3-9 自分で食事の用意をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問3-10 なたかどと食事をとる機会がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 毎日ある
2. 週に何度がある
3. 月に何度がある
4. 年に何度がある
5. ほとんどない

問3-11 現在困っていることや心配なこと、将来に向けて不安に思うことはありますか。当てはまるすべての枠の中に○を記入してください。

(該当するものがない場合は「27. 特にない」のみに○を記入)		
	現在 困っていること	将来 不安なこと
1. 健康面		
2. 生活費		
3. 仕事		
4. 住まい		
5. 食事の準備 (栄養)		
6. 掃除・洗濯		
7. 生きがいや楽しみがない		
8. 自分の介護		
9. 家族の介護		
10. 自分や家族の認知症への対応		
11. 財産管理		
12. 交通事故		
13. 火の始末		
14. 詐欺などの犯罪被害		
15. 通院		
16. 日々の買い物		
17. 緊急時の連絡手段		
18. 家族関係		
19. 相談相手がいらない		
20. 除雪		
21. 冬期間の外出・交通手段		
22. こみ捨て		
23. 災害時の避難		
24. 孤立死		
25. 自分が亡くなった後のこと		
26. その他 (具体的に)		
27. 特にない		

問3-12 あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思えますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）	
2. 地域包括支援センター	
3. 介護予防センター	
4. 健康づくりセンター	
5. 病院などの医療機関	
6. ケアマネジャー	
7. ホームヘルパー	
8. 入居中の住宅の相談員など	
9. 民生委員	
10. 福祉のまち推進センター	
11. 町内会	
12. 家族	
13. 親戚	
14. 知人	
15. 人権擁護委員	
16. 老人福祉センター	
17. その他（具体的に)
18. わからない	
19. 特になし	

4 地域での活動について

問4-1 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑥のそれぞれ当てはまるもの一つずつに○をつけてください。

	週4回以上	週2・3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援	1	2	3	4	5	6
⑩家事援助、移送などの高齢者への支援	1	2	3	4	5	6
⑪祭りなど地域の催し物の世話役など	1	2	3	4	5	6
⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動	1	2	3	4	5	6

①～⑥のすべてに「6. 参加していない」と回答した方は、問4-2（10ページ）へ

問4-2 【問4-1で①～⑫のすべてに「6. 参加していない」と回答した方にお聞きします】
参加していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 体力・健康面に不安がある	7. 仕事で時間が無い
2. 自分に合った活動が見つからない	8. 家事や介護・育児で時間が無い
3. きっかけや情報がない	9. 趣味に時間を使いたい
4. 人間関係が不安・煩わしい	10. その他 (具体的に)
5. 意欲がわかない、関心がない	11. 特に理由はない
6. 経済的に余裕がない	

問4-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行い、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. ぜひ参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. すでに参加している

問4-4 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. ぜひ参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. すでに参加している

問4-5 札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う	4. あまりそう思わない
2. まあそう思う	5. そう思わない
3. どちらともいえない	6. わからない

問4-6 少子高齢化に伴い、「介護のおごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか(介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいない介護助手※として就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます)。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 就労としてぜひ携わってみたい	問5-1へ
2. 就労として携わることに興味がある	
3. ボランティアとしてぜひ携わってみたい	
4. ボランティアとして携わることに興味がある	
5. あまり携わってみたいとは思わない	
6. 携わってみたいとは思わない	

※「介護助手」とは、原則として身体介護(食事介助、排せつ介助、入浴介助など)を行わず、食事の配膳や掃除、ベッドメイキングなどを行う職員をいいます。

問4-7 【問4-6で「1. 就労としてぜひ携わってみたい」、「2. 就労として携わることに興味がある」のいずれかを回答した方にお聞きします】
どのような勤務形態(頻度)で働きたいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. フルタイム
2. パートタイム(週4日以上)
3. パートタイム(週2～3日)
4. パートタイム(週1日)

5 心身の状況について

問5-1 身長・体重を教えてください。下表の口の中に回答を記入してください(小数点第1位まで)。

身長	□.□□	cm	体重	□□.□□	kg
----	------	----	----	-------	----

問5-2 現在のあなたの健康状態はいかがですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない
----------	---------	------------	---------

問5-3 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. ない | 11. 外傷（転倒・骨折等） |
| 2. 高血圧 | 12. がん（悪性新生物） |
| 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 13. 血液・免疫の病気 |
| 4. 心臓病 | 14. うつ病 |
| 5. 糖尿病 | 15. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 6. 高脂血症（脂質異常） | 16. パーキンソン病 |
| 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 17. 目の病気 |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 18. 耳の病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 19. その他 |
| 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等） | （具体的に） |

問5-4 最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 膝や腰に痛みがある | 8. ここ半年間で体重が2～3kg以上減った |
| 2. 足腰の筋力が落ちてきた | 9. 固いものが食べにくくなってきた |
| 3. 眠れない、眠りが浅い | 10. お茶や汁物でむせる |
| 4. 疲れやすい | 11. 口が渇く |
| 5. 目が見えづらくなってきた | 12. その他 |
| 6. 耳が遠くなってきた | （具体的に） |
| 7. 物忘れが増えた | 13. 特になし |

問5-5 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問5-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上かつ入れ歯を利用 | 3. 自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

問5-7 最近、ご自身の聞こえの状態について気になっていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. 会話をしているときに聞き返す | 5. 見えないところからの車の接近に気がつかない |
| 2. 後ろから呼びかけられると気がつかないことがある | 6. 電子レンジなどの電子音が聞こえない |
| 3. 聞き間違えが多い | 7. 耳鳴りがある |
| 4. 話し声が大きいと言われる | 8. 特になし |

※一般社団法人日本補聴器協会ホームページから引用

問5-8 聞こえる音量について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. ささやき声や静かな声は聞き取れない場合がある |
| 2. 普通の大きさの声を聞き取れないことがある |
| 3. 大きな声で話してもらわないと聞き取れないことがある |
| 4. かなり大きな声なら感じることができる |
| 5. 補聴器を付けても聞き取れない |
| 6. 特に支障を感じていない |

問5-9 タバコは吸っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 3. 吸っていたがやめた |
| 2. 時々吸っている | 4. もともと吸っていない |

問5-10 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるだけしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問5-11 15分位続けて歩いていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるだけしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問5-12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるだけしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問5-13 過去1年間に転んだ経験がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. なし |
|----------|---------|-------|

問5-14 転倒に対する不安は大きいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. とても不安である
- 2. やや不安である
- 3. あまり不安でない
- 4. 不安でない

問5-15 物忘れが多いと感じますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. はい
- 2. いいえ

問5-16 あなたは、現在のどの程度幸せですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

とても不幸	とても幸せ
0	10
1	9
2	8
3	7
4	6
5	5
6	4
7	3
8	2
9	1
10	0

問5-17 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. はい
- 2. いいえ

問5-18 この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. はい
- 2. いいえ

問5-19 あなたは普段の生活でどなたかの介護*・介助が必要ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 介護・介助は必要ない
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3. 現在、何らかの介護・介助を受けている

* ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含みます。

問5-20 介護保険の要介護（支援）認定等[※]は受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請を含む）
- 2. 「事業対象者」に該当している
- 3. 「要支援1」の認定を受けている
- 4. 「要支援2」の認定を受けている
- 5. 「要介護1」の認定を受けている
- 6. 「要介護2」の認定を受けている
- 7. 「要介護3」の認定を受けている
- 8. 「要介護4」の認定を受けている
- 9. 「要介護5」の認定を受けている

※ 要介護（支援）認定等の結果は、被保険者の皆様に交付している、「介護保険被保険者証」の2ページ目の「要介護状態区分等」欄に記載されています。

6 介護予防活動について

問6-1 あなたはフレイルを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 言葉も意味も知っている
- 2. 聞いたことはあるが意味は知らない
- 3. 聞いたことがない

問6-2 「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 強く意識している
- 2. 意識している
- 3. あまり意識していない
- 4. ほとんど意識していない

問6-4 (16ページ)へ

問6-3 【問6-2で「1. 強く意識している」、「2. 意識している」のいずれかを回答した方にお聞きます】
あなたが、健康維持・介護予防のために行っていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 休養や睡眠を十分にとっている
- 2. 毎日の食事に気をつけている
- 3. 市販の健康食品や栄養剤、ビタミン剤をとっている
- 4. 酒を控えている
- 5. タバコをやめている
- 6. 歯や口の中を清潔に保つよう心がけている
- 7. 閉じこもりがちにならないよう外出している
- 8. 運動不足にならないよう身体を動かしている
- 9. 身の回りのことは自分でしている
- 10. 気持ちを明るく保つよう心がけている
- 11. 健康診断などを定期的に受けている
- 12. 健康・介護予防のための研修会や講習会に参加している
- 13. 健康・介護の悩みや心配を相談している
- 14. 閉じこもり予防のための仲間づくり
- 15. 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている
- 16. その他
具体的に
- 17. 意識しているが何をすれば良いかわからない

問6-4 あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 運動を心がける
- 2. 口腔の手入れ
- 3. 栄養のバランスに気を付ける
- 4. 人との交流
- 5. 趣味を持つ
- 6. その他 (具体的に)
- 7. 特にない

問6-5 札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. そう思う
- 2. まああそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりそう思わない
- 5. そう思わない
- 6. わからない

問6-6 【問6-5で「4. あまりそう思わない」、「5. そう思わない」のいずれかを回答した方にお聞きします】取組が十分になされていないと思う理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから
- 2. 社会参加の機会があまりないから
- 3. 生涯学習やスポーツの機会が少ないから
- 4. 困ったときの相談窓口が整備されていないから
- 5. その他 (具体的に)
- 6. 特に理由はない

問6-7 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 名前も事業内容も知っている
- 2. 名前は知っているが事業内容は知らない
- 3. 名前も事業内容も知らない

問6-8 札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたが住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

お住まいの区・地区	担当地域包括支援センター
本府・中央 西創成 大通・西 桑園 東北・東 苗穂 豊水	1. 中央区 第1地域包括支援センター
中央 南円山 円山 宮の森	2. 中央区 第2地域包括支援センター
曙 幌西 山鼻	3. 中央区 第3地域包括支援センター
鉄西 幌北 北 新琴似	4. 北区 第1地域包括支援センター
麻生 太平百合が原 篠路茨戸	5. 北区 第2地域包括支援センター
北 拓北・あいの里	6. 北区 第2地域包括支援センター 拓北・あいの里支所
新川 新琴似西 屯田	7. 北区 第3地域包括支援センター
東 鉄東 苗穂東 北光 北栄	8. 東区 第1地域包括支援センター
元町 伏古本町 札苗	9. 東区 第2地域包括支援センター
栄西 栄東 丘珠	10. 東区 第3地域包括支援センター
白石 北東白石	11. 白石区 第1地域包括支援センター
白石 東札幌 菊水 北白石 菊の里	12. 白石区 第2地域包括支援センター
白石 東白石 白石東	13. 白石区 第3地域包括支援センター
厚別 厚別西 厚別東 もみじ台	14. 厚別区 第1地域包括支援センター
厚別 厚別中央 青葉 厚別南	15. 厚別区 第2地域包括支援センター
豊平 美園 平岸 中の島	16. 豊平区 第1地域包括支援センター
西岡 福住 東月寒	17. 豊平区 第2地域包括支援センター
月寒 南平岸	18. 豊平区 第3地域包括支援センター
清 北野 平岡	19. 清田区 第1地域包括支援センター
田 清田 里塚・美しが丘 清田中央	20. 清田区 第2地域包括支援センター
南 石山 芸術の森 澄川	21. 南区 第1地域包括支援センター
南 篠舞 藤野 定山溪 藻岩 (藻岩・南沢)	22. 南区 第2地域包括支援センター
南 真駒内 藻岩下	23. 南区 第3地域包括支援センター
西 八軒 八軒中央 琴似二十四軒 山の手	24. 西区 第1地域包括支援センター
西 西町 西野	25. 西区 第2地域包括支援センター
手 発寒北 発寒	26. 西区 第3地域包括支援センター
手 前田 新発寒 富丘西宮の沢	27. 手稲区 第1地域包括支援センター
手 手稲 手稲鉄北 稲穂金山 星置	28. 手稲区 第2地域包括支援センター

※ 詳細は、別紙「地域包括支援センター担当地区一覧」をご覧ください。

問7-5 あなたの入院・介護施設等の入所・転居に際して身元を保証してくれる人※はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

※ ここでいう身元を保証してくれる人とは、緊急時の連絡、各種手続きの支援、費用の支払いなどについて保証してくれる方をいいます。

問7-6 あなたが亡くなった後の様々な手続きを行っていただける人はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問7-7 大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか。当てはまるすべての枠の中に○を記入してください。

	現在 頼れる人	将来的に 頼りたい人
1. 配偶者		
2. 同居の子ども		
3. 別居の子ども		
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫		
5. 近隣の人		
6. 友人		
7. その他 (具体的に)		
8. そのような人はいない		

問7-8 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1. 決してない | 3. たまにある | 5. しばしばある・常にある |
| 2. ほとんどない | 4. 時々ある | |

問7-9 あなたは終活※を行っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------------|----------------|
| 1. 行っている | 2. 関心はあるが行っていない | 3. 関心がなく行っていない |
|----------|-----------------|----------------|

※ ここでいう終活とは、人生の終わりに向けて、今後の住まいに関すること、医療や介護、亡くなったあとの葬儀やお墓などについて事前に準備しておくことをいいます。

問6-9 あなたは、介護予防センターを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 名前も事業内容も知っている |
| 2. 名前は知っているが事業内容は知らない |
| 3. 名前も事業内容も知らない |

7 たすけあいについて

問7-1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問7-2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問7-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

問7-4 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はあなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 1. 配偶者 | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 7. その他
(具体的に) |
| 2. 同居の子ども | 5. 近隣の人 | |
| 3. 別居の子ども | 6. 友人 | 8. そのような人はいない |

8 認知症に関すること
 問8-1からは、またすべての方にお伺いします。
 (問1-5で「10. 施設に入所中」と回答された方は、ここから再開してください。)

問8-1 認知症とは、加齢による物忘れとは違い、脳の神経細胞の働きが低下する病気で、誰もがなり得る可能性があります。症状は「記憶障害」の他、周囲の対応や環境に影響されて起こる「感情障害」などがあります。早期に適切な診断や治療を受けることで、症状の改善や進行を遅らせたり、今後の生活に備えることが可能です。
 あなたはこのことをどの程度ご存じでしたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. よく知っている | 3. どちらともいえない | 5. 知らない |
| 2. ある程度知っている | 4. あまり知らない | 6. わからない |

問8-2 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8-3 【問8-2で「1. はい」と回答した方にお聞きします】
 経験したことがあるのは、どのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 家族の中に認知症の人がいる | 11. その他 (具体的に) |
| 2. 家族の中に認知症の人がいた | |
| 3. 親戚の中に認知症の人がいる | |
| 4. 親戚の中に認知症の人がいた | |
| 5. 友人や友人の家族に認知症の人がいる | |
| 6. 友人や友人の家族に認知症の人がいた | |
| 7. 近所付き合いの中で認知症の人と接したことがある | |
| 8. 仕事を通じて認知症の人と接したことがある | |
| 9. 街なかなどで、たまたま認知症の人と接したことがある | |
| 10. 自身に認知症の症状がある | |

問8-4 あなたは認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問8-5 「認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らすことができる」とあなたは思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. そう思う | |
| 2. どちらかといえばそう思う | |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. どちらかといえばそう思わない (理由) | |
| 5. そう思わない (理由) | |

問8-6 あなたは認知症に関する相談窓口を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8-7 仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 市の窓口 (区役所・保健センター・まちづくりセンターなど) | 11. 知人 |
| 2. 地域包括支援センター | 12. 電話相談 (認知症コールセンターなど) |
| 3. 介護予防センター | 13. 認知症疾患医療センター |
| 4. かかりつけ医 | 14. 認知症カフェ |
| 5. ケアマネジャー | 15. 認知症の人と家族の会 |
| 6. 入居中の住宅の相談員など | 16. その他 (具体的に) |
| 7. 民生委員 | 17. わからない |
| 8. 町内会 | 18. 誰にも相談しない |
| 9. 家族 | |
| 10. 親戚 | |

9 その他

問9-1 あなたの介護保険料の段階は何段階ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
 ※ 介護保険料の段階は、本年6月以降に被保険者の皆様までにお送りした、「令和7年度介護保険料納入通知書」または「令和7年度介護保険料特別徴収決定通知書」の2枚目に記載されています。

保険料段階	対象者	年間保険料
1. 第1段階	・生活保護を受給している方 ・中国残留邦人等の方々のための支援給付を受けている方 ・老齢福祉年金受給者で世帯全員が市町村民税非課税の方 ・世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80.9万円以下の方	19,742円
2. 第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80.9万円を超え120万円以下の方	33,596円
3. 第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	47,450円
4. 第4段階	世帯の中に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80.9万円以下の方	62,343円
5. 第5段階	世帯の中に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80.9万円を超える方	69,270円
6. 第6段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が135万円未満の方	79,661円
7. 第7段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が135万円以上210万円未満の方	86,588円
8. 第8段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上360万円未満の方	103,905円
9. 第9段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が360万円以上510万円未満の方	121,223円
10. 第10段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が510万円以上610万円未満の方	138,540円
11. 第11段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が610万円以上710万円未満の方	145,467円
12. 第12段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が710万円以上810万円未満の方	152,394円
13. 第13段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が810万円以上の方	159,321円
14. わからない		

問9-2 あなたは、現在支払っている介護保険料について、どう思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 負担ではない
- 2. 少し負担である
- 3. とても負担である
- 4. わからない

問9-3 あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 2. 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす
- 3. 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす
- 4. その他（具体的に)
- 5. わからない

※ 介護保険料は所得に応じた金額設定となっています。（22ページ参照）

問9-4 介護保険料※は、介護サービスに要する費用などに見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない
- 2. 介護サービスの種類や利用上限などは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい
- 3. 介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない
- 4. その他（具体的に)
- 5. わからない

※ 介護保険料のうち、65歳以上の被保険者にかかる「第1号保険料」は、介護保険事業計画期間の3年間で見込まれるサービス費用のうち、第1号保険料全体で負担すべき金額をまかなうことができようように設定し、市の条例や介護保険事業計画の中で定めます。
 一方、40歳以上64歳以下の被保険者にかかる「第2号保険料」は、それぞれが加入している医療保険の医療保険者が独自の算定方法により設定しています。

問9-5 札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. そう思う
- 2. まあそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりそう思わない
- 5. そう思わない
- 6. わからない

問9-6 高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 新聞・情報誌	10. 病院などの医療機関
2. テレビ	11. ケアマネジャーやホームヘルパー
3. ラジオ	12. 民生委員
4. インターネット（ホームページなど）	13. 福祉のまち推進センター
5. SNS（LINE、X、Instagramなど）	14. 町内会
6. 市の広報（広報さっぼろなど）	15. 家族・親戚・知人
7. 市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）	16. 老人福祉センター
8. 地域包括支援センター	17. その他 (具体的に)
9. 介護予防センター	18. 特に入手していない

問9-7 生活支援コーディネーターは、高齢者を中心とした生活支援のニーズ（買い物や病院の付き添いなど）を把握し、そのニーズに対応するため関係機関や団体等と連携して、高齢者を地域で支え合う体制づくりを行っています。

あなたは、生活支援コーディネーターを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 前年も事業内容も知っている
2. 前前は知っているが事業内容は知らない
3. 前年も事業内容も知らない

問9-8 高齢者あんしんコール事業は、心身に不安のあるひとり暮らし高齢者などに専用の通報機器を貸与し、健康などの相談に24時間対応するほか、受信センターから定期的な電話掛けを行います。また、急病などの緊急時は、受信センターが救急車を要請するなど状況に応じた支援を行い、高齢者の安心した在宅生活をサポートする事業です。

あなたはこの事業を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 前年も事業内容も知っている
2. 前前は知っているが事業内容は知らない
3. 前年も事業内容も知らない

問9-9 高齢者配食サービス事業は、ひとり暮らしで食事の支度が困難な高齢者に対して、食事に關してできる限り自立した生活が営めるよう、食に関する利用調整を行い、米櫃のバランスがとれた食事を届けるとともに、安否を確認する事業です。

あなたはこの事業を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 前年も事業内容も知っている
2. 前前は知っているが事業内容は知らない
3. 前年も事業内容も知らない

問9-10 高齢者等おむつサービス事業は、ねたさりまたは認知症などにより常時おむつを必要とする在宅の高齢者に対して、紙おむつを支給し、本人及び介護にあたる家族などの日常生活における負担軽減や保健衛生の向上を図る事業です。

あなたはこの事業を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 前年も事業内容も知っている
2. 前前は知っているが事業内容は知らない
3. 前年も事業内容も知らない

問9-11 高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内（対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし）で月1回自宅におむつを配達する事業で、高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。

この事業の今後について、あなたはどのように考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現状を維持するために介護保険料の負担増もやむを得ない
2. 所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入するべきである
3. 所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入し、利用負担なしとするべきである
4. 所得が一定額以上の方の利用負担額（通常1割）を上げ、その他の利用者は利用負担なしとするべきである
5. 利用負担額（通常1割）を上げるべきである
6. 利用上限額（6,500円）を下げるべきである
7. この事業を廃止してもよい
8. その他（具体的に)

問9-12 本アンケートの実施方法について、あなたはどちらの形式が回答しやすいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 紙のアンケート |
| 2. インターネットのアンケート (※) |
| 3. どちらでもよい |

※ インターネットのアンケートは、スマートフォンやパソコンからホームページにアクセスして行う方法です。

10 自由記載

問10 札幌市のこれからの保健・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般についてご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

令和7年12月22日(月)までに投函してください。